

永研会クリニック

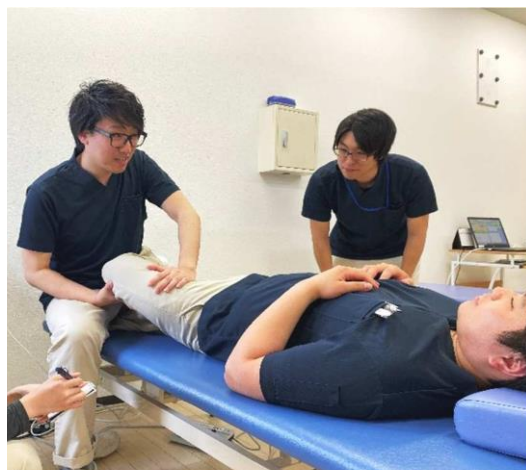
リハビリテーション科

東京都調布市・世田谷区



臨床実習が不安な方でも

大丈夫！



臨床実習未経験をカバーする

充実した新人研修あり

臨床経験20年前後の管理者が

2名在籍

同年代セラピストが

多数在籍！！

知識・経験を

仲間と共有できる環境

職員の新型コロナウイルス
対策は万全！



毎日不織布マスクを支給

手指や検査器具のアルコール消毒完備

スタッフの健康管理の徹底

(毎日の検温、体調チェック、医師による診察等)

スタッフや患者様の感染疑いや感染時の

対応マニュアルあり

3密を避けた職場環境

感染予防を徹底した業務内容(会議の中止等)

永研会クリニック リハビリテーション科



永研会は、かかわる全ての「人」を豊かにします
～あたたかいを考える～

01 業務の流れ

8時30分 朝礼 着替え、整理整頓、カルテ内容の確認などリハビリの準備

9時00分 午前診療開始

「1人1人の患者様の生活に寄り添ったリハビリを実践。リハビリの時間は、患者様1人あたり40分～60分で、焦らずゆっくりと評価や治療を行うことができます。」



外来リハビリ



訪問リハビリ

13時00分 昼休み

14時30分 午後診療開始

18時00分 夕礼

12時10分 昼休み

13時20分 午後診療開始

17時30分 夕礼

02 研修制度について

永研会では新卒の1年間はもちろん、在籍するセラピスト全員が一人前の理学療法士になれるよう、卒後教育に励んでいます。

新人研修(座学・実技練習)

入職後1週間は整形・中枢・呼吸器疾患などに対する座学・実技を学びます。実際に患者様のリハビリを行う前の心構えや、知識・技術の準備ができます。

1日目	リハビリテーション概論
2日目	肩関節疾患・リスク管理
3日目	歩行・下肢に対するリハビリ
4日目	体幹に対するリハビリ
5日目	呼吸・中枢疾患のリハビリ



ケーススタディ(症例発表)

症例発表を通して、理学療法の関わり方・考え方を3ステップに分けて段階的に習得できます。患者様の「出来るようになりたい事」に寄り添っているかを中心に評価シートを用いて、先輩セラピスト全員で指導していきます。

ステップ1(5~7月)

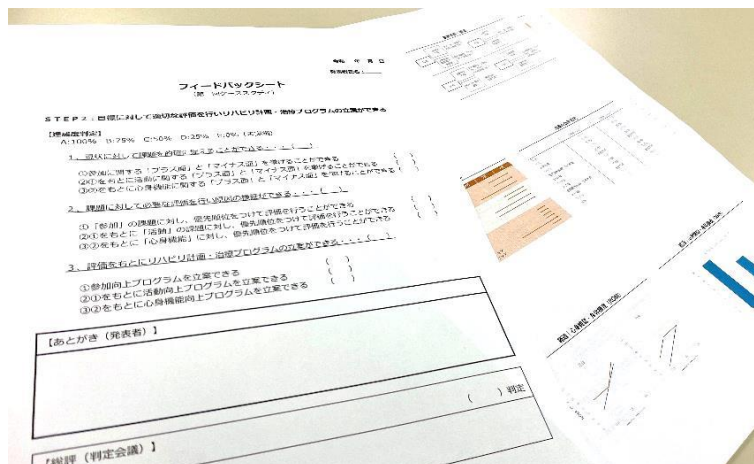
ステップ2(8~11月)

ステップ3(12~3月)

目標設定

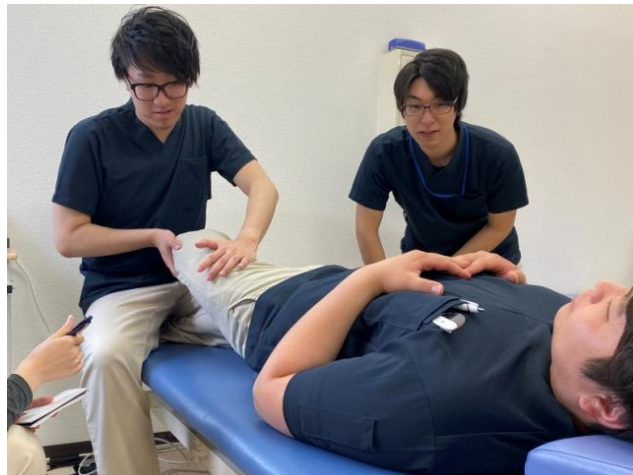
プログラム立案

効果判定・再評価



カンファレンス・勉強会

業務後に定期的にカンファレンスや勉強会を行っています。
セラピスト同士で意見交換をし、担当患者様について相談ができる環境です。
実技練習では、検査方法や動作観察をはじめ、筋膜及び筋へのアプローチや
関節モビライゼーション、PNF等の治療手技の勉強会を毎月実施しています。

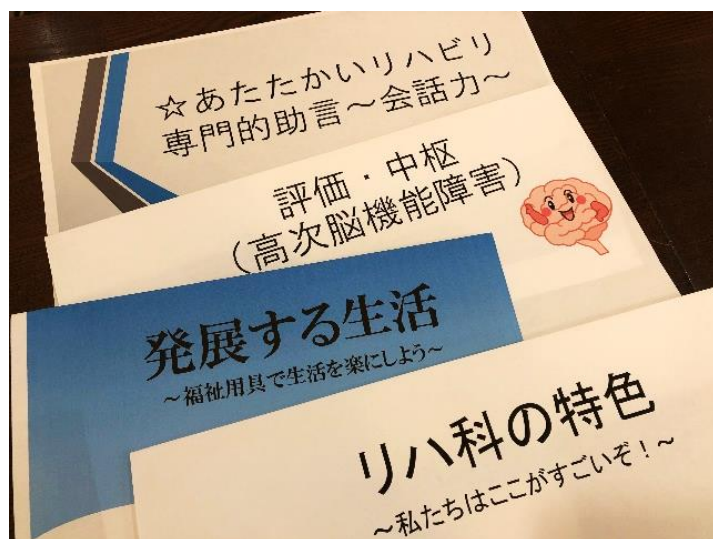


リハビリ科特色

★あたたかいリハビリ★

- ①会話力(問診、日常会話、専門的な助言、地域連携など)
- ②評価(疼痛の原因追求、姿勢・動作分析、各種評価スケールなど)
- ③発展する生活(多種多様な治療方法、ADL動作、福祉用具など)

リハビリ科全員で特色を強化できるように、
年間を通して勉強会や実技研修を実施しています。



設備

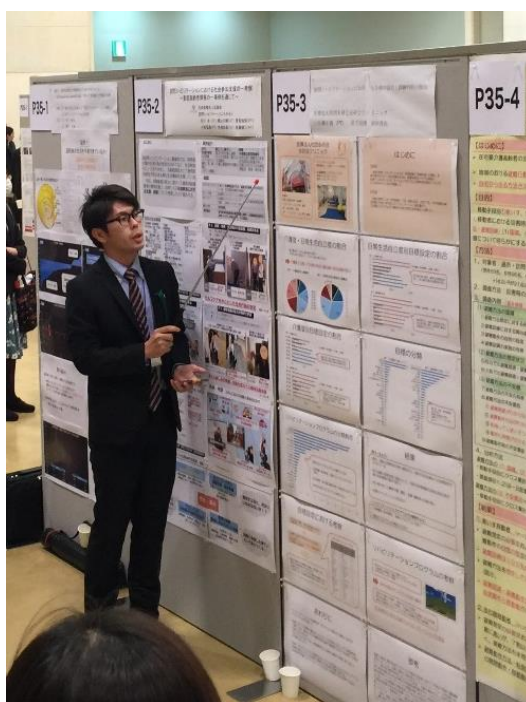
外来・訪問に1台ずつ徒手筋力測定器があり
患者様の筋力を定量的に評価しています。
目標のために必要な動作の獲得に向けて
身体機能を具体的に把握する事が可能です。



その他の研修支援制度(学会発表/社会人教育/勉強会費用補助)

新人研修の他、年間を通しての研修制度もあります。

先輩セラピストのアドバイスのもと、医療人・社会人として成長できる環境です。



学会発表実績

リハビリテーション・ケア合同研究大会
日本認知症ケア学会
日本肩関節学会
日本予防理学療法学会学術大会
日本訪問リハビリテーション協会 学術大会
日本がんリハビリテーション研究会
日本デイケア学会

03 スタッフインタビュー

外来リハビリ

Q1 業務の様子を教えてください。

「1年目の理学療法士で、外来リハビリと訪問リハビリを行っています。先輩と後輩の仲が良く、誰にでも業務について相談しやすい環境ですね。担当する患者様は腰痛や肩関節周囲炎、変形性膝関節症の方が多いです。中枢疾患や難病の方を担当する機会もあります。」

Q2 新人研修はどうでしたか？

「基礎知識から治療方法まで教えてくれるので、外来と訪問で患者様を担当するにあたって不安が減り、安心して臨床を実施することができました。1年間のケーススタディでは、自分ひとりでは見出せないような考え方を先輩に教わる事で本当に勉強になり、考え方が深まったと思います。」

「先輩のリハビリを見学して患者様の評価や治療についてたくさん教えてもらいました。だから患者様を引き継ぐ時も安心できましたね。」



Q3 新人の頃のエピソードがあれば教えてください。

「最初に患者様を担当する時は不安でした。でも先輩のリハビリの見学をして、評価と治療だけではなく患者様の状態を細かく教えてもらってから引き継いだので安心しました。」

Q4 入職後、プライベートと業務の両立は大変でしたか？

「最初は休日にもケーススタディの資料作りをしたりしていました。半年位は大変でしたが、慣れてくるとプライベートと業務の時間の区切りをつけて両立できるようになりました。休日には、舞台を見に行ったり、友達と会う時間も作れるようになりましたね。」

Q5 入職を志望した理由を教えてください。

「PT・OT・STネットを見て、その後見学をした際に、新人研修がしっかりしていた所に一番惹かれましたね。

スローガンの「あたたかいを考える」という言葉や訪問リハビリがあって地域に密着していること、患者様ファーストの考え方に好感が持てました。他にも見学した病院がありましたが、患者様とスタッフの雰囲気良かったので入職を決めました。」

訪問リハビリ

Q1 業務内容を教えてください。

「3年目の理学療法士で、訪問リハビリを担当しています。

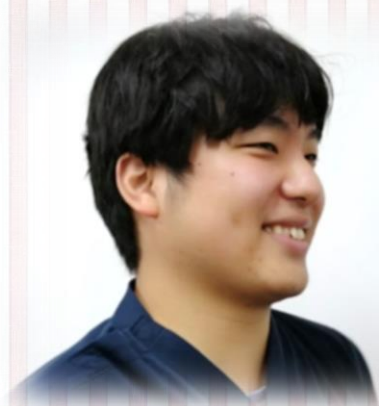
患者様のご自宅へ1日平均6件訪問しています。

移動は自転車で10分以内ですが最初は道順を覚えるのが大変でしたね(笑)」

Q2 新人研修はどうでしたか？

「国家試験と臨床は全く違うという気持ちがあったので不安でした。ですが入職して最初の週に新人研修があったので、臨床の技術を教えてもらい安心しました。

その後も、研修制度が手厚いので医療人として成長することができました。」



「先輩と話しやすい職場。
毎月のカンファレンスで臨床の
相談ができます。患者様から
「上手くなったね」と褒められる
ようになって嬉しいです。」

Q3 新人の頃のエピソードがあれば教えてください。

「先輩から引き継いだ患者様と信頼関係を築くことが難しかったです。

新人である自分の技術について心配の声があったこともありました。

でも、だんだん認めてくれるようになり、「上手くなったわね」と言って下さった時は本当に嬉しかったですね。」

Q4 働いていてやりがいを感じる時と大変な時は？

「患者様と一緒に目標を考えてリハビリを行い、「やっとできるようになった！」と喜んで下さった時は達成感がありますね。しかし進行性疾患では、なかなか目標を達成できず悩むこともあります。100点を目指すのではなく、具体的なポイントに絞って目標を設定することで成功体験を積むことができました。」

Q5 当院リハビリテーション科を勧めるとしたらどんなところ？

「先輩の理学療法士と話しやすい、相談しやすいところです。訪問リハビリは1人で訪問先を回る仕事ですが、カンファレンスなどで患者様の情報共有や意見交換をする機会が多いので、視野の広いリハビリに繋がっていると思います。あと個人的には、通勤が京王線に乗って約35分なのですが、仙川の街は人が多くて活気があります。飲食店が多いのがおすすめのポイントですね！」



04 Top Message

私達は「かかわる全ての人を豊かにできる」よう痛みや機能面ばかりではなく、患者様の生活に密着した明確な目標を立てて多角的なリハビリを実施しています。患者様だけではなく、患者様のご家族やご友人、地域の皆様やスタッフまで、全ての方の笑顔を引き出せるように努力し続けています。私達と一緒に悩み、喜びを分かち合い、熱く楽しく仕事をしていきましょう！



理学療法士 田島 健伸

05 新卒から出来る！訪問リハビリのお仕事

Q1 訪問リハビリってどうやって学ぶの？

訪問リハビリが初めてという人がほとんどです。安心して仕事を学べるよう、最初の3～6ヶ月間は、先輩セラピストと一緒に訪問していきます。訪問リハビリに必要な知識、技能、技術、態度などを計画的に習得できる研修システムです。

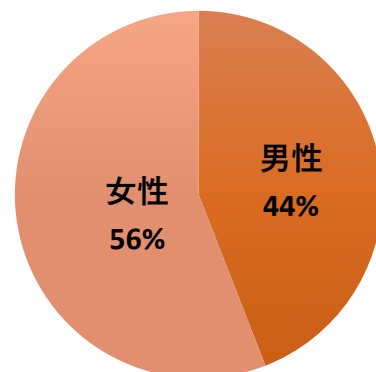


Q2 どんな患者様のところへ訪問しているの？

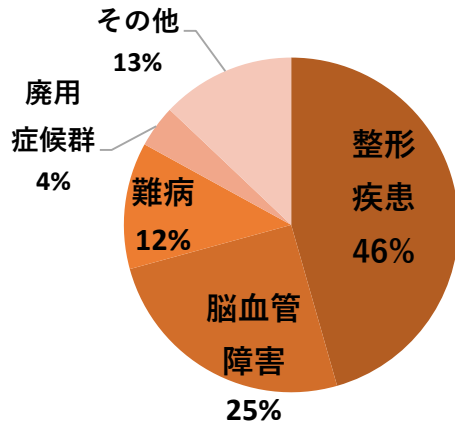
訪問エリア



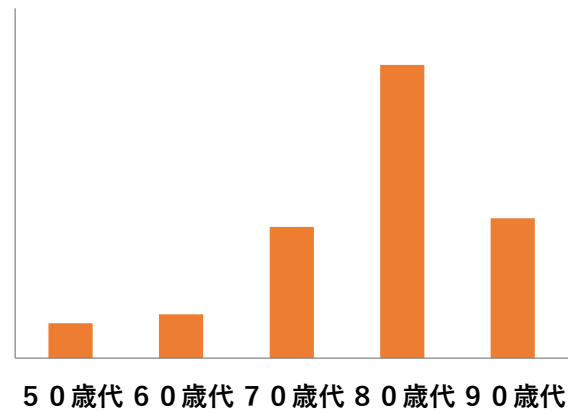
患者様の男女比



患者様の疾患の割合

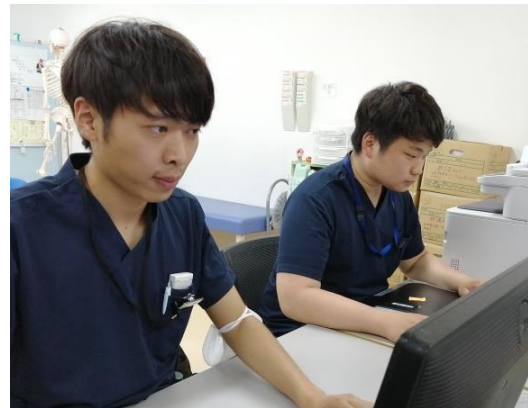


患者様の年齢分布



Q3 訪問リハビリに必要なものは？

訪問リハビリでは、電動自転車を使って訪問先へ移動します。レインコートと携帯電話は1人1つずつ用意し、安心・安全な訪問が可能です。バイタルセットには、血圧計・聴診器・パルスオキシメーター・体温計・メジャー・打腱器・ゴニオメーターを用意しており、充実した検査・評価を行う事ができます。また、訪問事務所にはデスクトップのパソコンが8台あり、電子カルテの入力や必要書類の作成など、能率的な事務作業が可能です。



お問い合わせ・ご応募お待ちしております



医療法人社団 永研会 事務局 採用担当:田中・黒川
TEL 03-5315-5558 / FAX 03-5315-5559

E-mail : recruit@eikenkai.jp

〒157-0062東京都世田谷区南烏山 4-9-14 南烏山ビル3階

ホームページはこちらから <https://eikenkai.jp>

見学特典

見学をされた方には臨床に役立つ資料をプレゼント！

特典01 科長田島監修の「積み上げる理学療法」 動画教材 体幹評価・アプローチ、歩行分析講座をプレゼント！

体幹機能への評価・アプローチ、歩行分析は臨床でも非常に重要です。
本動画を学び、1年目で最高のスタートダッシュをきりましょう。



積み上げる理学療法のイメージ

積み上げる 理学療法



動画カリキュラム一覧（体幹）

- 1.立位姿勢評価
- 2.立位姿勢の力学的負荷
- 3.立位アライメント不良からの異常運動
- 4.バランス評価
- 5.考える力～疑問、課題編～
- 6.体幹の関節可動域
- 7.体幹の関節可動域～続編～
- 8.神経・感覚評価
- 9.筋力評価
- 10.考える力2～勉強方法編～
- 11.整形外科テスト～ストレステスト～
- 12.疼痛評価～問診、視診、触診、筋緊張～
- 13.腰部評価表
- 14.腰痛事例について
- 15.カルテ記載

動画カリキュラム一覧（歩行分析）

- 1.歩行の観察方法
～初期接地・荷重応答期～
- 2.歩行の力学的負荷
～初期接地・荷重応答期～
- 3.歩行時の矢状面の関節モーメント
- 4.歩行時の前額面の関節モーメント
- 5.自分の目標設定
- 6.歩行の観察方法
～立脚中期・立脚終期～
- 7.歩行の観察方法
～前遊脚期・遊脚期～
- 8.歩行の力学的負荷
～立脚終期・前遊脚期～
- 9.歩行時の関節モーメント
～立脚終期・前遊脚期～

特典02 臨床応用ができるよう設計された 「オリジナル腰部評価表」プレゼント！

評価項目、測定、検査項目		測定単位	
評価項目	測定	測定単位	測定単位
腰痛	腰痛の有無	有/無	有/無
	腰痛の部位	腰部	腰部
	腰痛の程度	軽度	中等
	腰痛の持続時間	短時間	長時間
歩行時	歩行時の腰痛の有無	有/無	有/無
	歩行時の腰痛の部位	腰部	腰部
	歩行時の腰痛の程度	軽度	中等
	歩行時の腰痛の持続時間	短時間	長時間
歩行速度	歩行速度	歩行速度	歩行速度
	歩行速度の測定方法	歩行速度	歩行速度
	歩行速度の測定場所	歩行速度	歩行速度
	歩行速度の測定時間	歩行速度	歩行速度
歩行リズム	歩行リズム	歩行リズム	歩行リズム
	歩行リズムの測定方法	歩行リズム	歩行リズム
	歩行リズムの測定場所	歩行リズム	歩行リズム
	歩行リズムの測定時間	歩行リズム	歩行リズム
歩行姿勢	歩行姿勢	歩行姿勢	歩行姿勢
	歩行姿勢の測定方法	歩行姿勢	歩行姿勢
	歩行姿勢の測定場所	歩行姿勢	歩行姿勢
	歩行姿勢の測定時間	歩行姿勢	歩行姿勢
歩行歩幅	歩行歩幅	歩行歩幅	歩行歩幅
	歩行歩幅の測定方法	歩行歩幅	歩行歩幅
	歩行歩幅の測定場所	歩行歩幅	歩行歩幅
	歩行歩幅の測定時間	歩行歩幅	歩行歩幅
歩行歩数	歩行歩数	歩行歩数	歩行歩数
	歩行歩数の測定方法	歩行歩数	歩行歩数
	歩行歩数の測定場所	歩行歩数	歩行歩数
	歩行歩数の測定時間	歩行歩数	歩行歩数
歩行歩速	歩行歩速	歩行歩速	歩行歩速
	歩行歩速の測定方法	歩行歩速	歩行歩速
	歩行歩速の測定場所	歩行歩速	歩行歩速
	歩行歩速の測定時間	歩行歩速	歩行歩速
歩行歩角	歩行歩角	歩行歩角	歩行歩角
	歩行歩角の測定方法	歩行歩角	歩行歩角
	歩行歩角の測定場所	歩行歩角	歩行歩角
	歩行歩角の測定時間	歩行歩角	歩行歩角
歩行歩頻	歩行歩頻	歩行歩頻	歩行歩頻
	歩行歩頻の測定方法	歩行歩頻	歩行歩頻
	歩行歩頻の測定場所	歩行歩頻	歩行歩頻
	歩行歩頻の測定時間	歩行歩頻	歩行歩頻
歩行歩速歩頻	歩行歩速歩頻	歩行歩速歩頻	歩行歩速歩頻
	歩行歩速歩頻の測定方法	歩行歩速歩頻	歩行歩速歩頻
	歩行歩速歩頻の測定場所	歩行歩速歩頻	歩行歩速歩頻
	歩行歩速歩頻の測定時間	歩行歩速歩頻	歩行歩速歩頻
歩行歩速歩角	歩行歩速歩角	歩行歩速歩角	歩行歩速歩角
	歩行歩速歩角の測定方法	歩行歩速歩角	歩行歩速歩角
	歩行歩速歩角の測定場所	歩行歩速歩角	歩行歩速歩角
	歩行歩速歩角の測定時間	歩行歩速歩角	歩行歩速歩角
歩行歩速歩頻歩角	歩行歩速歩頻歩角	歩行歩速歩頻歩角	歩行歩速歩頻歩角
	歩行歩速歩頻歩角の測定方法	歩行歩速歩頻歩角	歩行歩速歩頻歩角
	歩行歩速歩頻歩角の測定場所	歩行歩速歩頻歩角	歩行歩速歩頻歩角
	歩行歩速歩頻歩角の測定時間	歩行歩速歩頻歩角	歩行歩速歩頻歩角
歩行歩速歩頻歩角歩頻	歩行歩速歩頻歩角歩頻	歩行歩速歩頻歩角歩頻	歩行歩速歩頻歩角歩頻
	歩行歩速歩頻歩角歩頻の測定方法	歩行歩速歩頻歩角歩頻	歩行歩速歩頻歩角歩頻
	歩行歩速歩頻歩角歩頻の測定場所	歩行歩速歩頻歩角歩頻	歩行歩速歩頻歩角歩頻
	歩行歩速歩頻歩角歩頻の測定時間	歩行歩速歩頻歩角歩頻	歩行歩速歩頻歩角歩頻

見学のご希望はメール(recruit@eikenkai.jp)または
お電話 ([03-5315-5558](tel:03-5315-5558))にてご連絡下さい。

見学特典については希望者の方へメールにてプレゼント
させていただきます。

当日はお会いできることを楽しみにしております。

理学療法士 田島健伸

